

防災知識

問合せ 役場防災交通課

まめ 17

高齢者等避難 その2

災害が起きた時、高齢者等の要配慮者にとって困ることはさまざまであり、一人ひとりの状態に合わせた支援が必要です。今回は、避難する際の支援方法について、例とともにご紹介します。

目が不自由な人	●正面から声をかけ周囲の様子を伝える ●肘を持ってもらい、支援者が半歩先に立って誘導する	
耳が不自由な人	●周囲の様子をメモや携帯等の画面に入力して伝える	
身体が不自由な人 介護が必要な高齢者	●車いすや担架を利用したり、数人で抱えたりして逃げる	
持病・内部障がいのある人	●外見からはわからないため、本人の要望を聞き、一緒に逃げる	
妊産婦・乳幼児がいる人	●妊産婦の人や乳幼児を抱えての避難は大変なため、手荷物等を持ち一緒に逃げる	

要配慮者の人へ・・・

災害時に自分のことを説明するのは難しいものです。いざという時に周りの人たちに助けを求められるよう、必要な支援や配慮等を記載し、財布等に入れてふだんから持っておきましょう。
※個人情報ですので、紛失等には十分注意してください

「あとが記」

9月の祝日は2日あり、「敬老の日」と「秋分の日」です。天文学に基づき、その年の太陽が秋分点を通過する日を「秋分の日」と定めており、昼と夜の長さがほぼ等しくなる日と言われています。この日を境に日が短くなっていくということ、今年の夏を振り返るのですが、コロナで旅行や花火大会、お祭りなどが今年もなく、夏らしいことをせずに終わってしまったなあ、いつになったら元の生活に戻るのだろうか、と思います。この祝日はのんびりと、おうち時間を過ごしたいですね。

朗読CDテープをご利用ください

目の不自由な人や、高齢者など、広報を読むことが困難な人へ、朗読ボランティア「かえるの声」によるCD・テープの録音・配達を行っています。ぜひご利用ください。

問合せ
武豊町社会福祉協議会
ボランティアセンター
☎ 73-3104



▲「かえるの声」による録音の様子

「広報たけとよ」は、「雑誌」に別冊としてついでよ。

